

# 都市再生整備計画(第5回変更)

ひろしまとしんちく  
広島都心地区

ひろしまけん ひろしまし  
広島県 広島市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	広島県	市町村名	広島市	地区名	広島都心地区	面積	395 ha	
計画期間	平成	18 年度 ~	平成	22 年度	交付期間	平成	18 年度 ~ 平成	22 年度

目標

大目標: 広島駅周辺地区(新都心成長点)と紙屋町・八丁堀周辺地区(拡大都心核)を都心活性化の両輪として、個性的で魅力ある都心空間を目指し、国内外からの来訪者が楽しみ・交流する、夢と活気に満ちたまちづくりを推進する。

目標1	広島駅周辺地区(新都心成長点)の拠点機能を強化するとともに、都市開発事業等の開発ポテンシャルを活用し、陸の玄関にふさわしい新たな賑わい空間を創出する。
目標2	中四国最大の商業業務集積地である紙屋町・八丁堀周辺地区(拡大都心核)の回遊性や賑わいを一層高め、広島の魅力をリードする都心部を形成する。
目標3	新都心成長点と拡大都心核をつなぐ地区(拠点連携地区)の機能的・形態的な連続性を高め、都心全体のより一層の広がりに変化にとんだ魅力づくりを創出する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

人類史上最初の被爆により、市街地の大半が廃墟と化した広島市では、これまで復興そして都市機能の強化などに積極的に取り組み、被爆60周年を経過した現在では、115万人を超える人口を抱える中国・四国地方を代表する都市へと発展した。特に、広島都心地区は、広島市の中心であると同時に、広島広域都市圏、中国・四国地方の中心としての役割を担う地区でもあり、高次都市機能の集積や交通拠点性を備えた高密度な地区を形成している。

一方、新たな世紀が始まった今、国際平和をリードするとともに、市民が愛着と誇りを持って住み続けたいと思い、また、国内外の人が訪れてみたい、訪れた人がこの地に住んでみたいと感じる文化的な都市となるため、将来を見据えた広島ならではの魅力ある都市づくりを進めていく必要がある。特に都心地区は、都市において、人・モノ・情報が集積する場所であり、同時に、長い歴史の中で、文化や伝統を育み、各種の機能を担ってきた「都市の顔」である。近年、情報化や国際化に伴う産業構造の変化、少子・高齢化の進展、個人の価値観が多様化する中で、過去の投資の蓄積として道路・公園・河川などの都市基盤や、広島駅・紙屋町の交通拠点、バス・路面電車などの公共交通基盤、商業・業務など高次都市機能などが充実している都心地区の役割は、ますます大きくなっている。また、都市型産業の集積の場で都市の活力の源泉であるとともに、新規産業の苗床としての役割を担っている。

現在都心地区では、定住人口は微増しているものの、建物更新の遅れ、空きオフィスの増加、大規模遊休地の存在、放置自転車、歩行者・自転車・自動車の輻輳などの現状のほか、犯罪や交通事故の増加など安全性の低下などの問題もあり、また歩行者空間の拡充や魅力的な場の整備など都心地区のさらなる魅力向上を求める市民のニーズが高い。特に、都心部を代表する集客施設である広島市民球場については、昭和32年の建設であり、施設の老朽化だけでなく、観客席の狭さや勾配、また諸室の狭さなど機能面においても多くの課題を抱えているほか、平成16年のプロ野球界再編論議を契機に、広島市民をはじめ多方面からの新球場の早期建設を求める意見が多く寄せられていることから、新球場建設促進会議における検討や本市における現在地建替えの技術的検討の結果を踏まえ、平成21年(2009年)の春までに、ヤード跡地に新球場を建設し、あわせて、地域防災計画における広域避難場所として防災機能の強化を図る。また、これに伴い、現球場跡地には、年間を通じて賑わいのある新たな集客機能を導入することとしている。

なお、「広島駅周辺地区」は都市再生緊急整備地域に指定(第三次指定 平成15年7月)され、「水の都の再生」についても都市再生プロジェクトに決定(第四次決定 平成14年7月)されており、また流川・薬研堀周辺地区については平成17年度都市再生モデル調査対象地区に指定されている。

課題

- ①広島駅周辺地区(新都心成長点)における賑わいや拠点機能の不足
  - ・広島駅周辺地区においては、都市開発事業等の開発ポテンシャルが高いにもかかわらず、大規模遊休地が存在する等土地利用の転換が進んでおらず、紙屋町・八丁堀地区と一体となった活性化を図るためには賑わいや活力が不足している。
  - ・利便性を兼ね備えた快適な歩行環境が整備されていないことから、広島の陸の玄関としての拠点機能が発揮されていない。
- ②紙屋町・八丁堀地区(拡大都心核)における魅力づくりや回遊性の不足
  - ・紙屋町・八丁堀地区においては、自動車・自転車・歩行者が輻輳しているなど、魅力的な歩行環境づくりが十分整備されておらず、歩行者の回遊性向上に支障をきたしている。
  - ・広幅員道路や公園・公共広場などの社会資本、歴史的な建造物、個性的な通りなど、有形・無形の地域資源を活用した魅力づくりへの取組が不足している。
  - ・都心を代表する集客施設である広島市民球場が、老朽化(築48年)や機能面(観客席の狭さ・勾配、諸室の狭さ等)などの課題を多く抱えている。
- ③両地区を結ぶ拠点連携地区の連携機能不足や安心・安全な環境づくりへの取組不足
  - ・広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の両地区を結ぶ地区(拠点連携地区)の賑わい・交流機能が不足しており、都心全体の回遊性向上への課題の一つとなっている。
  - ・中四国一の歓楽街である流川・薬研堀周辺地区における防犯対策、犯罪の起こりにくい環境づくりへの取組などが不十分である。

将来ビジョン(中長期)

◇広島市基本構想(平成10年6月)  
都市像として「国際平和と文化都市」を掲げ、広島のアイデンティティの形成(「共に生きる人づくり・まちづくり」、「個性と魅力ある都市ひろしまの創造」、「世界への展開と広域的な交流と連携の促進」)を掲げる。

◇第4次広島市基本計画(平成11年11月)  
目標年次を平成22年(2010年)とし、広島市のアイデンティティ形成を主導する7つの重点施策(①市民主体の市政推進、②平和首都広島の実現、③環境を保全・創造する都市広島の実現、④健やかで文化的に暮らせる都市広島の実現、⑤子どもと若者をくぐくむ都市広島の実現、⑥活力ある経済都市広島の実現、⑦総合的な交通対策の推進)を定めており、その各論として、「都心の拡大・強化」を掲げており、都心核と広島駅周辺との機能的・形態的な連続性を高めるなど、都心空間の一体化を図り、都心の形成を促進することとしている。

◇ひろしま都心ビジョン(平成17年2月)  
目標年次を平成42年(2030年)とし、「人を魅きつける広島の都心づくり」を目標とし、魅力ある都心づくりとして5つの基本方向(①行きよい都心づくり、②歩きやすい都心づくり、③賑わい・交流する都心づくり、④居心地よい都心づくり、⑤住みよい都心づくり)を定め、また拡大都心核や新都心成長点を重点地区とした8つの地域特性格の取組方針を定めている。なお、魅力ある都心づくりには相当の年月を要することから、平成22年(2010年)を一つの区切りとし、それまでに着手する主導的な取組を掲げている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
広島駅の1日平均乗車人員	人/日	広域交通拠点である広島駅における1日平均乗車人員	市内外からの来街性向を定量的に把握するための指標。都市開発事業等が完成する平成22年度の乗降客数2%増を目標値とする。	69,781	平成16年度	71,200	平成22年度
紙屋町・八丁堀地区の歩行者通行量	人/日	紙屋町・八丁堀の主要な道路における歩行者断面通行量(休日10:00~20:00)の合計	拡大都心核の賑わいを定量的に把握するための指標。平成22年度に10%増を目標とする。	1.0	平成17年度	1.1	平成22年度
都心の交通環境の満足度	%	都心の歩行環境等に満足している市民の割合	歩行空間の拡充などによる歩行者等の快適性を把握するための指標。平成22年度に10%増を目標とする。	1.0	平成17年度	1.1	平成22年度
都心の賑わい・交流の満足度	%	都心が娯楽、食事・買物、文化・スポーツを楽しむ場として魅力を感じている市民の割合	賑わい・交流など都心の魅力の満足度を把握するための指標。平成22年度に10%増を目標とする。	1.0	平成17年度	1.1	平成22年度

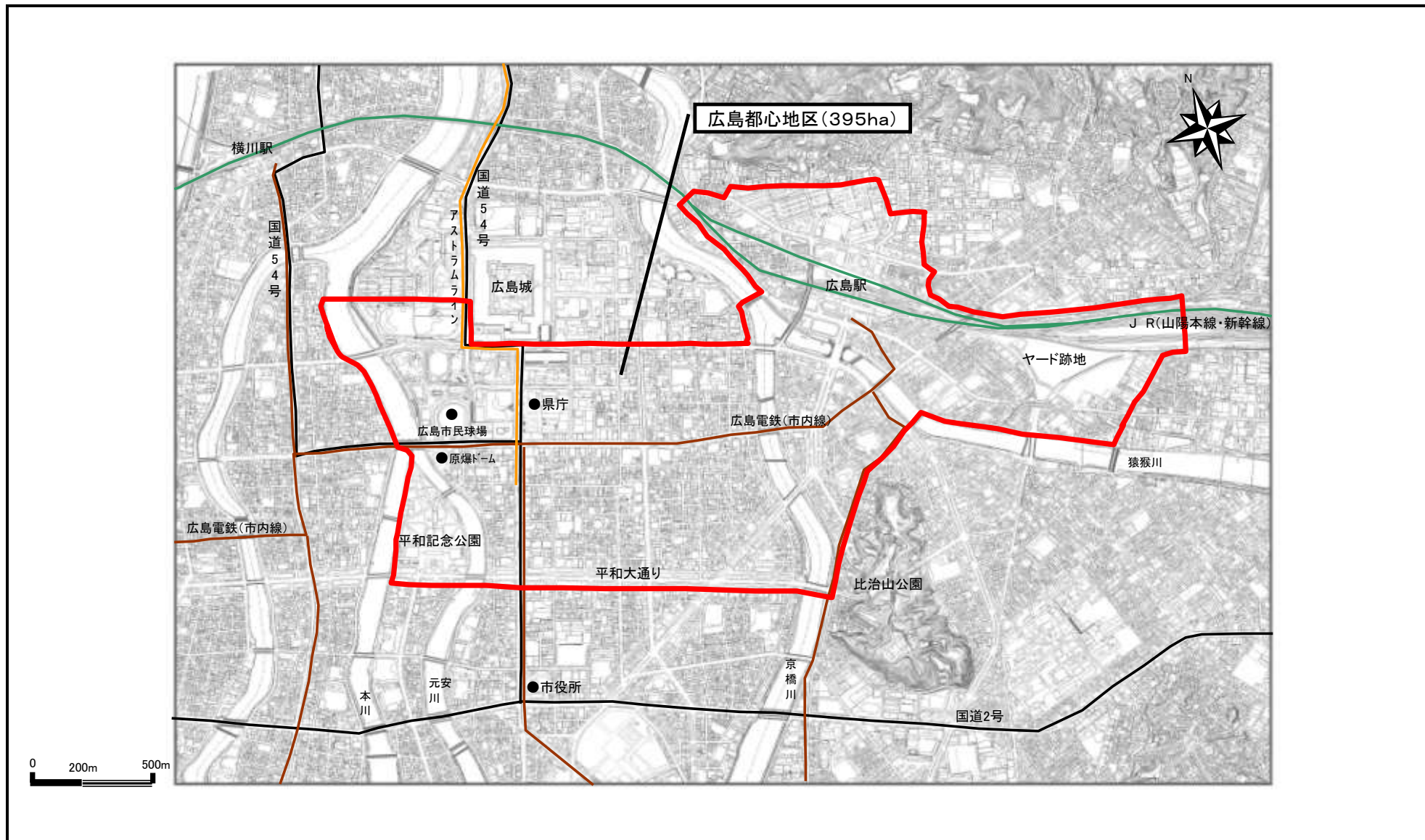
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 新都心成長点(広島駅周辺地区)の賑わいと拠点機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新球場の建設を契機とした広島駅周辺地区の活性化を推進する。</li> <li>・地域防災計画において広域避難場所に指定する予定の新球場に防災備蓄倉庫や非常用電源施設等を整備し、防災機能の強化を図る。</li> <li>・都市再生緊急整備地域において、都市再生の拠点として都市開発事業等による重点的な市街地の整備を推進する。特に広島駅新幹線口地区の整備及びヤード跡地地区開発における新球場建設を契機とした都市機能の強化や、新たな賑わい空間の創出などを促進する。</li> <li>・広島駅周辺地区において、広がりのある歩行者空間を創出し、回遊性を向上させるなど、人に重点を置いた広域交通ターミナルとしての機能強化を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>《道路》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南1区13号線道路改良 ・南1区19号線道路改良 ・南1区23号線道路改良 ・南区道路整備</li> <li>・南1区駅前大州線道路改良 ・一般県道広島海田線道路改良 ・南1区天満矢賀線道路改良</li> </ul> <p>《高質空間形成施設(緑化施設等)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南1区38号線美装化事業</li> </ul> <p>《地域生活基盤施設(地域防災施設)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新球場の建設</li> <li>・飲料水兼用型耐震性防火水槽整備</li> </ul> <p>《高次都市施設(人工地盤等)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者通路整備 ・若草町再開発ビルペDESTリアンデッキ整備</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定都市高速道路(広島高速5号線)の整備 ・都市計画道路駅前大州線の整備</li> <li>・東5区天満矢賀線道路改良</li> <li>・若草町地区第一種市街地再開発事業</li> </ul>
<p>整備方針2 拡大都心核(紙屋町・八丁堀周辺地区)のより一層の魅力向上と回遊性の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙屋町・八丁堀周辺地区において、歩行者空間の拡充など快適で移動しやすい歩行環境を整備し、賑わいや魅力の拡大、回遊性の向上を創出する。</li> <li>・現球場跡地を含めた中央公園や、平和大通りなどの広幅員道路、広場などの公共空間を有効活用し、都心部の魅力を向上させる。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>《道路》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中1区212号線(大手町通り)歩道整備 ・中1区191号線歩道整備</li> <li>・中2区2号線道路改良 ・中1区139号線歩道整備〔再掲〕</li> </ul> <p>《高質空間形成(緑化施設等)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比治山庚午線(平和大通り)リニューアル空間整備</li> </ul> <p>《地域生活基盤(自転車駐車場)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和大通り自転車等駐車場整備</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <p>《事業活用調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都心活性化プランの検討</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中1区215号線道路改良 ・旧日本銀行広島支店の活用 ・西新天地公共広場の活用</li> </ul>
<p>整備方針3 拠点連携地区の魅力向上と連携機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀周辺地区を連携する拠点連携地区の連携機能の強化を図るため、河岸緑地や親水護岸において「水の都ひろしま」の顔となる魅力ある水辺空間を形成するとともに、オープンカフェの実施など人々が集い、楽しむ水辺空間の創出に取り組む。</li> <li>・交通環境の整備や防犯意識の向上などにより、きれいで安全・安心な都心環境を創出する。特に都市再生プロジェクトでモデル地区に指定されている「流川・薬研堀地区」については、関係行政機関や地元組織と連携して、防犯対策や犯罪の起こりにくい環境づくりに取り組む。</li> <li>・当地区の活性化策について検討を進めることとし、第1ステップとして、市内の代表的な歴史街道である西国街道において、かつての街道のイメージを譲し出す取組を行い、都心部全体の回遊性を向上させる。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>《道路》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中1区139号線歩道整備</li> </ul> <p>《地域生活基盤(広場)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東新天地公共広場整備</li> </ul> <p>《地域生活基盤(自転車駐車場)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和大通り自転車等駐車場整備〔再掲〕</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <p>《地域創造支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水の都ひろしま」の推進 ・流川・薬研堀地区安全なまちづくりの推進</li> </ul> <p>《事業活用調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点連携地区の活性化の検討</li> </ul>
<p>その他</p> <p>◇都心地区の街並み形成の誘導</p> <p>「広島市の魅力ある風景づくり基本計画(平成16年3月策定)」において、「都心風景区域における風景づくり地区の整備・誘導方針」が示されており、「圏域の発展をリードする都心の顔づくりを進めるとともに、水や緑を楽しめる都市空間を形成する」ことを風景づくりの目標としている。特に「原爆ドーム及び平和記念公園周辺地区」、「平和大通り沿道地区」、「リバーフロント・シーフロント地区」については、重点的風景づくり地区として要綱等に基づき景観協議を実施している。</p> <p>◇都心活性化の組織体制</p> <p>都市再生整備計画の実施にあたり、関係部署を横断的に包括した組織(都心活性化担当局)を平成17年度に設置しており、目標達成に向け都心活性化連絡調整会議等を設置し、関係部署間との調整を横断的に進めることとしている。</p> <p>◇市民・企業等との協働</p> <p>本市は、都心活性化に取り組む市民・企業・NPO等多様な主体との協働を進めており、都市再生プロジェクトの「水の都ひろしま」の推進のための「水の都ひろしま推進協議会」や、流川・薬研堀地区における「広島市中央部安全・快適な街づくり協議会」などにより、都心のまちづくり活動を行っている。</p>	



都市再生整備計画の区域

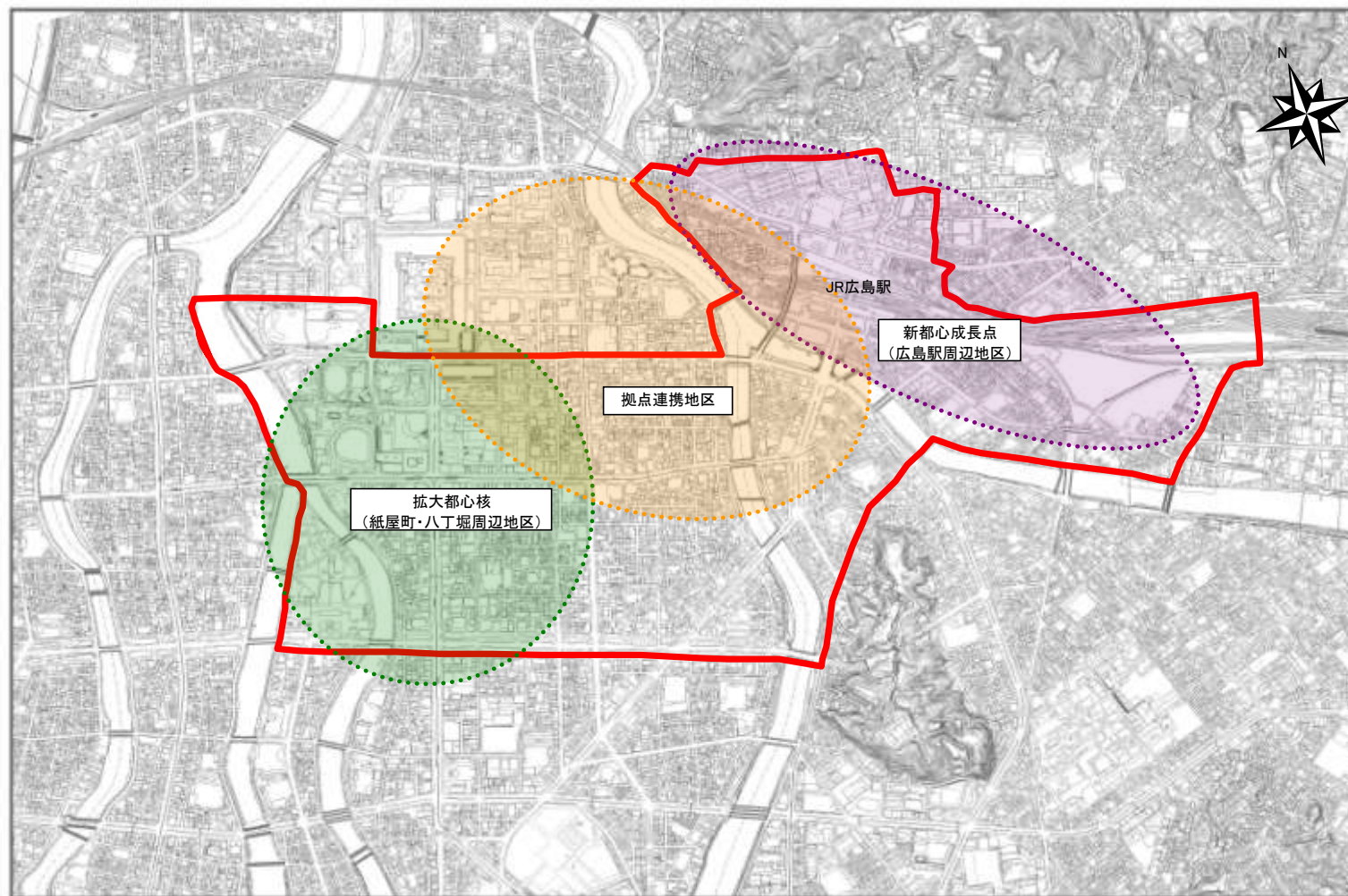
<p>広島都心地区(広島県広島市)</p>	<p>面積 395 ha</p>	<p>区域 中区紙屋町一丁目、大手町一～二丁目、本通、小町、袋町、中島町、流川町、新天地、薬研堀、幟町、南区松原町、大須賀町、稻荷町、西蟹屋一～四丁目、東区東蟹屋町、二葉の里一～三丁目</p>
-----------------------	------------------	--





都市再生整備計画の区域

広島都心地区(広島県広島市)	面積 395 ha	区域 中区紙屋町一丁目、大手町一～二丁目、本通、小町、袋町、中島町、流川町、新天地、薬研堀、幟町 南区松原町、大須賀町、稲荷町、西蟹屋一～四丁目、東区東蟹屋町、二葉の里一～三丁目
----------------	--------------	---



# 広島都心地区(広島県広島市)整備方針概要図

目標	新都心成長点(広島駅周辺地区)と拡大都心核(紙屋町・八丁堀周辺地区)を両輪とし、国内外からの来訪者が楽しみ・交流する、夢と活気に満ちた魅力ある都心づくりを推進する。	代表的な指標	広島駅の1日平均乗車人員 (人/日)	69,781 (H16年度) → 71,200 (H22年度)
			紙屋町・八丁堀地区の歩行者通行量 (%)	1.0 (H17年度) → 1.1 (H22年度)
			都心の賑わい・交流の満足度 (%)	1.0 (H17年度) → 1.1 (H22年度)

